

申し訳ございません。まさか、まさかあのトランプが敗北宣言するなんて。私は昨年の10月号あたりよりYeohawiii さあ、祭りだ！ よさこいだ！ だんじりだ！ カーニバルだ！ ハロウィンだ！ 廻って躍って足上げて、手も上げて、シメは腰振ってチークダンスだ、どうだこの野郎！ などと口走ってしまいました。

だって、選挙活動中でもユーチューブのバイデンの民衆応援なんて惨めな画像ばっかでしたよ。それに引き替えトランプ側は、ガンガン盛り上がっていた。この盛り上がり、という現象は重要なポイントになる。35年前の地元町長選挙時にも現職優位と見られていたが、若者を中心とした町内の盛り上がりには明らかに差があった。当然、盛り上がった新人が町長になった。

## 米国選挙の真偽のほど

対中政策を考えたら、トランプ応援は当然だろう。カリフォルニアとニューヨーク市を除けば、アメリカ人にとって中国も日本も韓国も同じに見られる。さすがにハンダルは別だが、中国語の雑誌を持って来て、ほら日本のこと書いてあるぞ！と言われたこともある。

すべて、おいかわ！ カナダ人や

またつ！ 改憲君主党 張陽チャンネル！ からのタイムス！ ケント・ギルバート！ などのユーチューバーが悪い。

ところで、このユーチューブの親会社は、あのGAFAG（グーグル、アマゾン、フェイスブック、アップル）の一角のグーグルでもある。このGAFAGはインチキ・リベラルのデモクラッツ（民主党）支持だといわれ、トランプを嫌っていたらしいし、今年になってトランプのユーチューブ、ツイッターをやめさせた。

しかし日本では、先ほどのユーチューバーが今回の選挙を煽りまくるではないか、トドメは必ず登録お願いしますと言う。登録者が多く、再生回生が多ければ収益につながることは誰でも知っている。なんだ、日本のユーチューバーは選挙の事実ではなく金稼ぎのためにやっているのか？

そう言えば英語版ユーチューブを見ても、日本ほど「トランプが！」というのはいらないと感じた。同じく

## アメリカ人のほうが日本人より冷静だった？

Vol.154



宮井 能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作物する。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子ども時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョシディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。

Illustration by Kazushige Akita

dominion と入れてもせいぜい50万再生で、タイトルも5つ程度だった。単に私の検索英語能力なのか、やはり規制が入ったのか。

ディープステイツはあいつだ、ヒラリーはロシアと中国から……、オバマも中国から……、あの判事はあの島で児童と……、CIAが管理するフランクフルトにあったドミニオンのサーバーを取り返したとか、ドミニオンはネットに接続さ

# オレにも 言わせる!

## 北海道長沼発 ヒール・ミヤイの憎まれ口通信

れていると証言する者もいた、だから共和党の選挙票は盗まれた? ジュリアーニ元ニューヨーク市長はアリゾナの公聴会で死者からの投票があった、州外からの投票があった、ある州では非常に珍しい名前の投票があった、トラック運転手の証言があった——。では、そんなものは存在しなかったのか?

知り合いの娘さんからこんな話を聞いた。この3月に日本の大学も卒業する娘さんは国連はシットだ!と評価するくらい国際関係に通じているようだ。ワシントンDCの4年制大学を2年で卒業した優秀な女性でもある。ちなみにその2年間の学費と生活費の合計は緑の150馬力のトラクターと同じだから、さぞかしご両親にとって教育は最高の投資だにご理解されているのだろう。

この娘さんの話によると、2年前の2018年の中間選挙では上院議員の1/3、下院議員の全員が改選になったらしい。彼女はアメリカ生まれなので、当時アメリカ国籍を持っていて。当然、投票資格もあることを知っていたので、DCの大学の向かいにある選挙登録事務所に行くことになった。

そのプレハブ小屋では金髪・ブルーアイのボランティアのおばちゃんの手続きを仕切っていたそう。

「この用紙に記入してね」「身分証明書は持ってる?」と聞かれたが、運転免許もないし、パスポートカード(プラスチック製)とSSS(ソーシャル・セキュリティ・カード)も持ち合わせていなかった。そこで学生書を提出すると、おばちゃんは「OK」となった。

次に「住所を証明する物持ってる? 銀行からの書類とか、水道局の書類とか、電気とか、アパートの証明書とか……」と聞かれた。「昨日来たアマゾンの宅配の控えだったらあります!」で、問題解決。その他、支持政党などを記入して手続きは完了した。数週間後に投票用紙が届いたが、DCは第一次産業がないデモクラツ(民主党)の巣みたいなところなので、投票しても無駄だから何もなかったらしい。

ここまで言うとはよく考えてみよう。終わる。しかしよく考えてみよう。アメリカ国籍を持っていても、英検1級を持っていても、所詮日本育ちなんで、なまりのない英語ではないことくらい、金髪・ブルーアイのボランティアのおばちゃんでも簡単にわかることだ。

私が21歳でカリフォルニアで運転免許を取った時も、記入用紙の一番下に「誕生日が分からない場合はここにチェックを入れてください」と

あったほど、自分の誕生日を知らない、言いたくないメキシコからの不法移民がたくさんいた。諸説あるが、その数は最低でも1000万人にもなるらしい。親に連れられて幼子の状態でアメリカに来た者も少なくない。彼ら彼女たちは英語のなまりはないが、投票権はあるのだろうか。

先ほどの運転免許の申請書もそうだが、LAダウンタウン周辺ではアミーゴ語記人が主流である。納税に使い、実質、身分証明書になるSSSカードも、元所有者はメキシコに帰ってしまったたり、120歳の使いまわされた本物は100ドル程度で売っているし、偽物だったら20ドルくらいでリンカーン・パークで売っていた。

私には運転免許証の有効期限が切れる少し前に、案内状が登録してあったLAの知り合いの家に届いた。ということはあの娘さんのところにも2年後の中間選挙の案内が来るのだろうか。トランプが言う「票を盗まれた!」はあながちウソではないと思う。

## 4年後の大統領は誰だ?

しかしね、リパブリカン(共和党)の裏切者には驚いた。チビのマルコ・ルビオ! ランドポール! ロムニー! マコーネル! こいつ

らは次の選挙で落ちるな。中国をよく知っている駐日大使でもあったバガティは、トランプを支えた。4年前の大統領選挙で大統領選に参加したカナダ生まれのテッド・クルーズは徹底抗戦した。お前は大人だ! 4年後の大統領はあなただ! いろいろなことがあったが、当のアメリカ人の方が日本人よりも冷静だったのかもしれない。あゝつまらない選挙だった。

ではデモクラツはまた中国にすり寄ることになるのか。私の見立てはこうだ。中国は日本が日本近海海底鉱物資源を採掘することに脅威を感じるだろう。直接的な威嚇では国際社会がうるさいので、デモクラツのアメリカと手を組み、海底資源保護条約なんてものを作り、日本に迫って来るだろう。条約好きの日本は憲法98条第1項を遵守しませんが、となる。これで中国やデモクラツのアメリカはニヤリとなる。そうなると思えなどのカルタヘナ議定書や対地雷条約のようにデモクラツのアメリカは関係ないとなる、かも。

今後どのような動きになるのか、やはりPatriot Party 設立か。どちが勝つかわからない。Make America Great Again だ、文句あるか!